

開拓にも真剣に取り組んでいることが感じられます。

当社にも、様々な保険会社の担当の方々が乗合を目的に頻りに訪問してきます。

最近、国内最大手の生命保険会社の担当者が急に来店してきたとき、私は「10分程度であつたらお話を聞きます」ということで、お話を伺いました。

その中で、「4月からのペイオフ対策で、今、一時私の終身保険が売れております」とパンフレットと、保険料表を示しましたので「ちなみに30歳男性で1千万円の終身保険一時私の保険料はいくらですか?」と聞きました。

そうするとその担当者は得意げに「6,465,400円です」と言いました。私は「6百万ですか?」と聞き直しました。担当者は「はい、そうです」と言いました。

私は「S生命では1,932,760円ですよ」と言いました。しかも格付けが同じ。

その担当者は、開いた口が塞がりませんでした。3分の1以下の保険料を言われたので啞然としたのでしょう。ちなみに3歳男の子の場合5,182,400円のところS生命では1,004,630円と、驚異的ともいえる5分の1の保険料となりました。100万円そこそこの保険料で1千万円の終身保障が買えれば、究極のコストダウンと言えます。

ただし、この保険の場合、数年後以降の解約返戻金の利回り勝負もあります。ここでもS生命は2倍以上の利回りが確保出来ます。(条件により多少前後します)

私は、もう少し他社の研究をしてから来ていただきたいと思いました。

もちろんお客様にとって有益な情報を持ってくる担当者はいつでもウェルカムです。

上記の例までとはいかないまでも、比較してみる価値は十分あります。

家計の中で涙ぐましい節約をしている方が非常に多い中、家計の中で最も大きな支出の一つである生命保険を賢く見直す事が、長いライフプランにおいて大きな節約となります。

出来ることであれば、目先の保険料だけにこだわるのではなく、一生涯でどのくらい保険料を支払うのか、厳しくチェックすることです。総支払額の比較で検討しないと、目先の保険料を下げたと喜んだものの、問題は先送り(10年後、15年後の更新時に保険料が大幅に上がります)となり、結果的に大きな出費となります。

また、テレビなどの通販にも十分注意して下さい。人生の中で最も高額な商品の一つ「生命保険」を選ぶのに、手間と時間を惜しむことにどのような意義があるのでしょうか。

ある一定の時間だけ使えば済むのですから…それだけで人生において大きな違いを生むことができます。私たちは、時間を取って前向きに考える事ができる方には真剣に応援したいと思っています。

3. ソニー生命の変額保険締め切り迫る!!

先月号にてお知らせの通り、ソニー生命の変額保険の予定利率変更による保険料の大幅なアップの期日が迫っております。

おかげさまで、当社でも記録的な契約件数となり嬉しい悲鳴を上げております。

現時点での契約であれば、4.5%という高い予定利率に伴う保険料はそのままとなり、一生涯に支払う保険料はかなり安いものとなります。

公式発表の保険料はまだ不明ですが、予定利率の引き下げは若い人ほど保険料のアップ率が大きくなります。

ソニー生命の担当者によると今月中の成立がタイムリミットとなるとのこと。

よって、お申し込みは最低3月中旬までとなります。

お問い合わせや保険の見直し依頼が殺到し、対応に時間が必要となる場合がありますので、出来るだけ、お問い合わせまたはお申し込みはお早めにお問い合わせ申し上げます。

4. 新商品情報

アイエヌジー生命、アクサ生命が相次いで「長期傷害保険」を新たに発売しました。

傷害保険は、従来損害保険会社の独壇場の商品でありましたが、3年ほど前に生命保険会社のアリコジャパンから生保初の発売となりました。発売当初は山形県内の他の代理店では、保険料が高く売れないと悪く言われましたが、私は、発表会の時にすでに法人での財務的効用が今までに無い高いものだと思い込んでおりました。案の定、3大都市圏を中心に法人に売れ始めてきました。

私も一時期、宮城山形ブロックでトップクラスの契約を頂いたこともありました。

長期傷害保険は終身保障タイプで終身支払いが主流です。それにより解約時の返戻金が大きく貯るといった特徴があります。

また、損害保険にあるように職種による級別はなく、年齢性別による保険料の違いとなります。

今回は後出し保険会社の通例として、特にアイエヌジー生命保険会社は返戻率の高さに際だった特徴があります。50歳台でも単純返戻率は100%を超える強烈な内容になっています。法人契約形態にもよりますが、支払い保険料が全額損金計上出来た場合、従来損金計上出来る保険商品の中で最強の商品となります。

また、返戻率のピークが急ではなく約90歳までに緩やかに上昇していくという、今までにない特徴があるため、法人等の財務的戦略商品として、大ブレイクする予感がします。

そして、傷害保障となるため、最高金額（1億5千万円：年収制限あり）まで簡単な告知により加入出来るといったメリットがあります。

個人の場合でも、現在では年払や月払での損保の積立傷害保険では100%の返戻率は望めませんので、長期の積立傷害保険として利用できます。

アクサ生命では、どちらかという保険料の安さに特徴があり、従業員全員に保障を提供しながら、含み益をつくるのに適しています。

5. 2月は音楽を楽しみました

2月19日に山形テルサにて山形交響楽団の定期演奏会がありました。

今回の最大の目的はギタリストの「村治佳織」の演奏でした。テレビなどのCMにも起用され人気があり、会場も満席となりました。私が座った席は前の方で、彼女の表情を伺うことができるポジションでした。名曲「アランフェス協奏曲」を見事に演奏してくれました。

やはり、人気だけではなく実力も相当なものだと感じました。

また、2月23日は天童地区3ロータリークラブによる「ロータリークラブ生誕100周年記念ファミリーコンサート」をパルテにて開催しました。黒田氏のテノール独唱、須藤女史と増川氏のピアノとチェロのデュエット、そして、最後に櫻嶋合唱団OGによる合唱と、バリエーション豊かな構成となりました。私は実行委員の一人として裏方にて聞きました。天候が悪いにも関わらず多くの方々に来ていただき、成功に終わりました。

